

神奈川ゆめ奨学金だより

2025年度事業報告書

理事長あいさつ

日頃より神奈川ゆめ奨学生に温かい応援をいただきまして、誠にありがとうございます。

パルシステム神奈川の組合員による「神奈川ゆめ奨学生サポーター」をはじめ、多くの賛助団体の皆様、関係者の皆様の温かいお気持ちによって、子どもたちの未来に寄り添う事業が行えていることに、心よりお礼を申し上げます。

ここ数年は、毎年20名ほどの新しい高校生を受入れ、3学年で60数名の奨学生が在籍している状況にあります。近年では、ゆめ奨学生を卒業した若者が、財団の交流会のお手伝いや学習支援をしてくださったりと、現役奨学生との交流もなされています。年齢が近いこともあり、奨学生にとっては親しみやすさや安心感もあるのではと感じます。

神奈川ゆめ社会福祉財団の卒業生が、後輩の支援として財団に顔を出していただき、引き続き元気な顔を見せてくれる機会となっていることは、これまで奨学金だけではなく、伴走支援に力を入れて取り組んできたことが実をむすんだ表れであると思い、運営者一同嬉しく思っております。



今後も子どもたちに寄り添い、心の支えとなるように財団運営者一同取り組んで参りたいと思いますので、変わらぬ応援をどうぞよろしくお願いいたします。



公益財団法人 神奈川ゆめ社会福祉財団
理事長 藤田 順子



公益財団法人 神奈川ゆめ社会福祉財団

<https://kanagawa-s.or.jp>

2026年7月発行



はじめに

2023年4月に神奈川県からの公益認定を受け、「公益財団法人神奈川ゆめ社会福祉財団」として活動を続けています。高校卒業後も支援を必要とする若者たちに対し、将来の自立に向けた「伴走支援」を途切れることなく提供し、彼らの未来を力強く応援していきます。



奨学金給付事業

2025年度は新たに21名（区分1：20名、区分2：1名）を採用し、計66名に給付を行いました。2026年3月には22名が卒業（大学進学15名、専門学校進学2名、就職1名、その他4名）。採用分布の広がりから、神奈川県全域に奨学金が周知されていることが分かります。

※2026年3月卒業の奨学生の進路、その他4名は大学進学準備中、就職準備中の方。

神奈川ゆめ奨学生採用人数

	区分1	区分2	合計
2018年度	11	1	12
2019年度	11	0	11
2020年度	12	0	12
2021年度	12	2	14
2022年度	15	5	20
2023年度	20	4	24
2024年度	19	4	23
2025年度	20	1	21
2026年度	20	募集中	20
	140	17	157

神奈川ゆめ奨学生の要件別に、区分1、区分2としています。

※共通要件として、神奈川県内に在住の方、市町村民税所得割額が非課税世帯の方で、財団が企画するサポート活動などに参加する意思のある方。

※区分1は、高等学校（全日制課程、定時制課程、通信制課程）、中等教育学校の後期課程、専修学校高等課程、特別支援学校に入学を予定する方。

※区分2は、高等学校（全日制課程、定時制課程、通信制課程）、中等教育学校の後期課程、専修学校高等課程、特別支援学校に在学中で支援団体等の推薦を受けた方。



奨学生等支援事業

多子世帯大学等無償化制度等、国の就学支援制度の拡充に伴う対象要件や、無償化対象範囲に対する誤解から、経済的負担や機会損失が生じるのを防ぐため、正確な情報提供と周知徹底の必要性を確認しました。今後は確かな進路選択を支えるキャリア支援などと合わせ、多角的な伴走に努めます。

生徒の進路選択を支援する取り組みとしては、一年生を中心に16名に対して「職業興味検査」を実施しました。検査を受けた生徒からは、職業への視野が広がったことや、前年との比較による自己理解の深化について高い評価を得ています。

1. 学習支援「まなびれっじ」

2025年度は9回開催し、延べ100名が参加しました。今年度は「自分のペースで学びたい」という声に応え自習支援を開始。分からない所をその場で大学生に質問できる安心感から、自発的に机に向かう生徒が増えています。

2025年度の大学生ボランティアの登録は31名で、勉強だけでなく、進学についてなどを相談する関係づくりが行われました。昼食には株式会社パルブレッド様のパンで賑やかな時間を持つことができました。

4月には一般社団法人COAs様の企画運営のもと、新一年生に財団を身近な存在に感じてもらうことを目的に春の交流会を実施。午前は学習支援、午後は交流レクリエーションや職業興味検査（希望者10名）を行いました。また、支援の質向上に向け、大学生ボランティア同士の絆と意欲を深める研修・交流の時間も設けました。



2. 家庭学習支援

教育機会の確保を目的に、神奈川ゆめ奨学生の希望者11名に対し、オンライン学習支援アプリを提供しました。

また、2025年度神奈川ゆめ奨学生9名に、学校で使用するパソコン購入費用の一部を支給しました。

3. キャリア支援

自己理解を深め、将来の職業選択に結び付けることを目的に、新一年生への実施を含め、奨学生11名、卒業生5名の職業興味検査を行いました。継続的な実施により、一年間での自身の変化や成長を実感し、視野を広げる貴重な機会となっています。また、当財団の職業体験受入れ企業による若者支援プログラムを経て、就職が決定した実績も生まれました。



【職業興味検査感想】

- 昨年の結果と照らし合わせたことで、一年間で変化したこと、変わらなかったことが明確になり、さらに自分への理解度が高まったように感じました。進学やその後の進路についても考えが深まりました。ありがとうございました。
- 自分に何が向いているのか、自分が何に興味があるのかがよく分かり、将来したいことを決める良い材料になりました。また世の中には様々な職業があることを知り、色々調べてみたいと思いました。
- 一昨年と結果が違い自分の変化を知れてよかったです。

4. 相談支援

神奈川ゆめ奨学生7件、卒業生11件、保護者3件から相談が寄せられました。生徒からは進路や就職、生活に関する相談が多く、多様な進路に応じたきめ細かな伴走支援に努めました。また保護者からは、子育てや自身の体調不良、就労・住居の問題など深刻な相談も多く寄せられ、面談や専門機関への橋渡しなど、必要に応じた迅速な支援を行いました。

5. 文化的・社会的体験の機会の提供

地域団体等よりご寄付いただいたチケットを希望者に提供、財団より交通費を支給し、体験の機会を提供しました。

【展覧会「ミュシャ展」の感想】

- 絵を通じてミュシャという人物を学ぶことができ、とても貴重な経験となりました。



【展覧会「Perfume展」の感想】

- 衣装のデザインで個性や世界観まで表現していることに驚き、感動しました。



【バスケットボール観戦の感想】

- テレビとは迫力が全く違い、1秒ごとに展開が変わる試合に熱中しました！



ご協力のみなさま：社会福祉法人横浜市社会福祉協議会様、株式会社神奈川新聞社様、株式会社テレビ神奈川様、スポーツジャーナリスト宮嶋泰子様、長島由佳理事

6. 交流会

多くのみなさまからの食材提供、施設提供・運営協力により、楽しい思い出となる交流会を行うことができました。

夏の交流会(BBQ交流会) 野島公園バーベキュー場

夏の交流会では、バーベキューを行い、お肉やマッシュマロを焼いたり、スイカ割りを楽しみました。

【バーベキューの感想】

- 美味しいお肉をたくさんいただけて嬉しかったです。なかなかお肉を好きに食べることがないので、久しぶりに贅沢をした気分です。お肉を焼く中でも、食べる中でも美味しいものを囲むことで会話が弾み、久しぶりにみんなと楽しい時間を過ごせました。



秋の交流会 (立教大学キャンパスツアー、ワークショップ)

一般社団法人 COAs 様の企画運営のもと行われました。ワークショップを通じて進路選択の軸になるような「やりたいこと」を見つけることを目的に企画しました。

【秋の交流会の感想】

- とても学びを得た一日でした。実際に大学に通われている方々の体験談を聞く機会は少ないので、貴重な時間を過ごすことが出来て嬉しかったです。大学のことでなく日々生きる上で何を大切にしているのかなど他の方向の話も沢山できて、自分もこんな風に頑張りたいなあと将来に対してのモチベーションを持ってました。



大学生ボランティア学習&交流会

学習支援の質の向上と大学生ボランティアの連帯強化を目的に企画しました。ボランティア間の交流促進、個人情報管理等の重要事項の再徹底を図りました。

【大学生ボランティア学習&交流会の感想】

- ボランティア同士であまりコミュニケーションを取ることが普段できていなかったが、改善点などを話す中でコミュニケーションをとる機会が持ててよかった。



クリスマス交流会

しめ縄を活用したクリスマスリース作り、自分で巻いたキンパやチキンを囲んだ会食で親睦を深めました。

【クリスマス会の感想】

- 学年を超えた交流ができ、代違いの卒業生同士や高校生と話すことができ良かったです！自分で挑戦するクリスマスリース作りやキンパ作りでは他の奨学生やボランティアの方と協力して挑戦するのが楽しかったし、昼食では色々な方とたくさんお話ができて良かったです。



2025年度卒業お祝い会

記念品の贈呈や長島理事の手作り弁当で高校を卒業する神奈川ゆめ奨学生をお祝いしました。



7. 外部連携による伴走支援

他の奨学金や助成金制度とも柔軟に連携しながら、奨学生や卒業生への複合的な伴走支援を行いました。

- パルシステム給付型奨学金伴走支援
- かながわつばさプロジェクト
- 神奈川県生活困窮者支援団体支援金
- ツルハグループ こども食堂ゆたか基金



広報・啓発事業

クロストーク講演会

「こどもまんなか社会は実現できる？ ～現場のボランティア視点から～」



- 開催日 2025年12月6日
- 参加者 28名
- 会場 青少年交流スペースさくらリビング
- 登壇者 6名 (ファシリテーター高木氏、財団大学生ボランティア2名、あすのち1名、セントリベル1名、よこはまユース1名)

こども家庭庁が掲げる「こどもまんなか社会」の実現に向けて、「どうありたいのか」「何ができるのか」をテーマに、実際に支援活動に携わっている大学生や社会人ボランティアの方々によるクロストークを行いました。2つのテーマを軸に、現場の声や具体的な取り組みを共有しながら、子ども支援の未来を考える講演会となりました。



2025年度卒業生のコメント

■皆様のおかげで、私たちの生活はより安定し、前向きに生活を送ることができています。物資の提供や寄付が、単なる物質的な支援にとどまらず、私たちにとっては希望の光となり、困難な状況を乗り越える力になっています。

■皆様の温かいご支援のおかげで高校生活3年間を楽しく過ごすことが出来ました。本当にありがとうございました。4月からは晴れて大学生となり今までよりも深い学びをすることができます。新たな友人との出会いにも心躍らせています。大学では今までよりも大きなコミュニティに属することとなり、たくさんの人との交流があると思うので一つ一つの出会いに感謝し、また一つ一つの出会いを大切に大学生活も楽しみたい、実りある4年間を過ごしたいと思います。



財 務 諸 表

1. 貸借対照表

(2026年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
流動資産	7,458,475	6,411,240	1,047,235
固定資産	10,000,000	10,000,000	0
基本財産	23,707,483	19,636,584	4,070,899
特定資産	33,707,483	29,636,584	4,070,899
資産合計	41,165,958	36,047,824	5,118,134
II 負債の部			
流動負債	2,172,554	2,163,008	9,546
固定負債	0	222,700	-222,700
負債合計	2,172,554	2,385,708	-213,154
III 正味財産の部			
指定正味財産	33,707,483	29,636,584	4,070,899
寄付金（基本財産）	10,000,000	10,000,000	0
受取寄付金	23,707,483	19,636,584	4,070,899
一般正味財産	5,285,921	4,025,532	1,260,389
正味財産合計	38,993,404	33,662,116	5,331,288
負債及び正味財産合計	41,165,958	36,047,824	5,118,134

2. 正味財産増減計算書

(2025年4月1日～2026年3月31日)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
経常収益	34,406,802	33,960,545	446,257
基本財産運用益	2,118	170	1,948
受取会費	17,229,000	15,874,240	1,354,760
受取寄付金	14,737,668	15,086,086	-348,418
受取補助金	2,418,000	2,993,500	-575,500
雑収益	20,016	6,549	13,467
経常費用	33,179,469	35,147,170	-1,967,701
事業費	30,103,298	31,733,087	-1,629,789
管理費	3,076,171	3,414,083	-337,912
当期経常増減額	1,227,333	-1,186,625	2,413,958
当期経常外増減額	33,056	0	33,056
雑収入	33,056	0	33,056
当期一般正味財産増減額	1,260,389	-1,186,625	2,447,014
一般正味財産期首残高	4,025,532	5,212,157	-1,186,625
一般正味財産期末残高	5,285,921	4,025,532	1,260,389
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	18,530,801	17,701,338	829,463
特定資産運用益	40,098	10,249	29,849
一般正味財産への振替額	-14,500,000	-14,500,000	0
当期指定正味財産増減額	4,070,899	3,211,587	859,312
指定正味財産期首残高	29,636,584	26,424,997	3,211,587
指定正味財産期末残高	33,707,483	29,636,584	4,070,899
III 正味財産期末残高	38,993,404	33,662,116	5,331,288



組織概要(2026年度定時評議員会終了時点)

・理事長

藤田 順子 生活協同組合パルシステム神奈川 理事長

・専務理事

坂本 希 生活協同組合パルシステム神奈川 業務執行理事

・理事

石井 正宏 特定非営利活動法人パノラマ 理事長

荻原 妙子 公益財団法人かながわ生き生き市民基金 理事長

関 英昭 青山学院大学 名誉教授

高橋 温 弁護士 新横浜法律事務所

認定特定非営利活動法人子どもセンターてんぼ 理事長

長島 由佳 料理研究家・食育コーディネーター

横浜市食育推進検討部会委員・人権擁護委員

認定特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス

日本・神奈川 副会長

林 直美 公益財団法人日本教育公務員弘済会神奈川支部 常任幹事

・監事

小門 謙 特定非営利活動法人ぐるっと緑道 理事長

野上 憲王 中央労働金庫 神奈川県本部 営業担当部長

・評議員

網野 拓男 生活協同組合パルシステム神奈川 専務理事

梅村 敏幸 元中央労働金庫職員

一般社団法人協同組合研究所 監事

篠田 学 株式会社神奈川新聞社 代表取締役社長

田中 知巳 神奈川県生活協同組合連合会 代表理事専務

パルシステム生活協同組合連合会 執行役員 企画政策本部長

永岡 鉄平 特定非営利活動法人フェアスタートサポート 代表理事

本田 正男 弁護士 川崎総合法律事務所

かわさき子どもの貧困問題研究会 代表

山藤 公一 城南信用金庫 名誉顧問

一般社団法人しんきん成年後見サポート 顧問

吉中 季子 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 准教授

渡部さと子 生活協同組合パルシステム神奈川 常任理事



ご支援・ご協力のみなさま

賛助会員【18団体】

安藤法律事務所 様

特定非営利活動法人イエロー・エンジェル 様

SBSゼンツウ株式会社 様

神奈川県生活協同組合連合会 様

神奈川県労働者福祉協議会 様

株式会社イノセント 様

株式会社カジノヤ 様

株式会社高木商会 様

株式会社戸田酒販 様

株式会社流通サービス 様

株式会社ロジカル 様

共生食品株式会社 様

生活協同組合パルシステム神奈川 様

太陽油脂株式会社 様

高木不動産株式会社 様

ハッピーズリー株式会社 様

平田産業有限会社 様

有限会社パーク 様

※五十音順にて掲載

賛助会員【個人】 35名

ご寄付【団体】

生活協同組合パルシステム神奈川 様

ご寄付【個人】 10名

ゆめつなぐ応援団 54名

神奈川ゆめ奨学生サポーター

4,049名

協力企業・協力団体

一般社団法人インクルージョンネットかながわ 様

一般社団法人COAs 様

特定非営利活動法人セカンドリング神奈川 様

特定非営利活動法人パノラマ 様

小田原林青会 様

神奈川県労働者福祉協議会 様

株式会社ウイングシステム 様

株式会社フェアスタート 様

株式会社神奈川新聞社 様

株式会社パルブレッド 様

株式会社パル・ミート 様

公益財団法人よこはまユース 様

公益社団法人フードバンクかながわ 様

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 様

城南信用金庫 様

生活協同組合パルシステム神奈川 様

西嶋医院 様

はちどりの畑 様

ブルージョブズ株式会社 様

横浜市立大学ボランティア支援室 様

横浜市政策局男女共同参画推進課 様

横浜市野島青少年研修センター 様

ワーカーズコープほっとリンク 様

※五十音順にて掲載

※2026年3月末現在

※公表をご承諾いただいた団体の方のみ掲載



公益財団法人 神奈川ゆめ社会福祉財団

〒222-0033

神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-16 新横浜交通ビル内

TEL : 0120-302-895

メール : yume@kanagawa-s.or.jp

HP : https://kanagawa-s.or.jp

